

## 「ルカによる献呈の辞」

ルカ 1:1~4

### 1. はじめに

(例話) トーマス・ジェファーソン (アメリカ合衆国第3代大統領) の本の宣伝文  
「国立スミソニアン博物館 (Smithsonian Museum)」で売られている復刻版

「トーマス・ジェファーソンは、77歳の時に、新しい本を編み出した。『ナザレのイエスの生涯と倫理』という本である。彼は、新約聖書の4福音書からの抜粋を時間順に並べ、イエスの生涯、たとえ話、道徳的教えなどの再構築を試みた。彼は、英語、フランス語、ラテン語、ギリシア語の4種類の聖書から切り取り、それを並べて比較した。イエスの教えを抽出し、より明確に理解するためである。ジェファーソンは、『イエスの教えは、人類に提示された最も崇高で情け深い道徳律である』と信じていた。もちろん、イエスの神性や奇跡的力を感じさせるような箇所は、すべて省かれている」

(1) 4つの福音書を並べ、時間順にメシアの生涯を追って行く。

(例話) 裾野市の広報に掲載された富士山の写真 (5箇所から)

- ①A. T. Robertsonの「A Harmony of the Gospels」をガイドラインとして使用。
- ②マルコ、マタイ、ルカ、ヨハネの順に4つのコラムに並べられている。

(3) 4つの福音書の関係

- ①マタイ、マルコ、ルカを共観福音書と言う。
- ②ヨハネを第4福音書と言う。
- ③マルコの福音書の優位性
- ④マタイとルカは、マルコの福音書の資料を使っている。
- ⑤マタイとルカだけに共通した資料もある (Q資料)。
- ⑥さらに、マタイだけの資料 (M資料)、ルカだけの資料 (L資料) もある。
- ⑦ルカは、時間の流れに最もこだわっている。

(4) 4つの福音書の特徴 (前書きにヒントがある)

①マルコ: 前書きなし

- \*ローマ人向けの福音書
- \*教えよりも行動に重点がある。
- \*「すぐに」という言葉が40回以上出てくる。
- \*メシアを「【主】のしもべ」(イザヤ書)として描いている。
- \*マコ 10:45

「人の子が来たのも、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためなのです」

②マタイ：メシアの系図

\*ユダヤ人向けの福音書

\*旧約聖書の預言の成就に強調点がある。

\*メシアを「ユダヤ人の王」として描いている。

③ルカ：献呈の辞

\*ギリシア人(知識人)向けの福音書

\*メシアを「理想的な人(知的、肉体的に)」として描いている。

④ヨハネ：長い前書き

\*教会全体のための福音書

\*共観福音書が書き漏らしたことを書いている。

\*行動よりも教えに重点がある。

\*メシアを「神の子」として描いている。

(5) 解釈の原則

①ヘブル的解釈

②フルクテンバウム師の教えからヒントを得る。

③日本人への適用

2. アウトライン

(1) ルカとは誰か。

(2) テオピロとは誰か。

(3) ルカの資格は何か。

(4) ルカの目的は何か。

3. メッセージのゴール

(1) ルカの謙遜

(2) メシアの生涯の歴史性

(3) 世界史の中のキリスト教

このメッセージは、ルカによる献呈の辞について学ぼうとするものである。

I. ルカとは誰か

1. この福音書には、著者ルカの名が出てこない。
  - (1) 2世紀初頭から、ルカであるという伝承がある。
  - (2) 伝承では、ルカはシリアのアンテオケ出身の異邦人であるとされている。
  - (3) ルカは、パウロと同様に、一度も公生涯の間のイエスに会ったことがない。

2. コロ4:14

「愛する医者ルカ、それにデマスが、あなたがたによるしくとっています」

- (1) ルカは医者である。
  - ①「医者」という言葉は、ここでは敬意を込めて使われている。
  - ②当時、医学はようやく科学的営みを開始した段階であった。
  - ③ルカは、信者になる前から知的な人物であった。
- (2) ルカが異邦人かどうかに関して、異論がある。

3. パウロの同労者

- (1) 使徒の働きの中で、主語が「彼ら」から「私たち」に代わる箇所が3つある。
  - ①使16:10
  - ②使20:5
  - ③使27:1
- (2) ルカは、パウロからさまざまな情報を得ることができた。

## II. テオピロとは誰か。

1. 「テオピロ」(セオフィロス)とは、「神に愛されている者」「神の友」という意味。
  - (1) この言葉は、クリスチャン一般を意味するものである。
2. 「尊敬する」(クラティストス)という敬称が付いているので、実際の人物である。
  - (1) 聖句の例
    - ①使23:26  
「クラウデオ・ルシヤ、つつしんで総督ペリクス閣下にごあいさつ申し上げます」
    - ②使24:2  
「パウロが呼び出されると、テルトロが訴えを始めてこう言った。『ペリクス閣

下。閣下のおかげで、私たちはすばらしい平和を与えられ、また、閣下のご配慮で、この国の改革が進行しておりますが、』

③26 : 25

「するとパウロは次のように言った。『フェスト閣下。気は狂っておりません。私は、まじめな真理のことばを話しています』

(2) 以上のことから、テオピロとは、ローマ帝国の高官であったと思われる。

3. アンテオケに住んでいた裕福で影響力のある人物

4. 大祭司 (A. D37~41年) で、セオフィロス・ベン・アンナスという人物がいた。

(1) 彼は、アンナスの息子で、カヤパの義理の兄弟。

5. 大祭司 (A. D65~66年) で、マタテアス・ベン・アンナスという人物がいた。

6. ローマ人の弁護士で、パウロの裁判の弁護をした。

(1) ルカの福音書と使徒の働きは、裁判資料として用意された。

①パウロの無罪を証明するための資料

②キリスト教の無害性を証明するための資料

7. 実際は、誰であるかはわからない。

(1) ローマ帝国の高官であろう。

(2) ルカの著作活動を援助した、パトロンであろう。

### III. ルカの資格は何か

1. ルカの前書きは、当時の文学形式に沿ったものである。

(1) ヨセフスの『アピオンへの反論』がその好例である。

①この書は、1部と2部に分かれて書かれている。

②ルカもまた、1部(福音書)と2部(使徒の働き)を意識して書いている。

③ルカは、最初から2部作を予定していたと思われる。

(2) 献呈の辞は、美しい文体で書かれたひとつの文である。

①1~2節と、3~4節は、対照関係にある。

## 2. 1～2節

「私たちの間ですでに確信されている出来事については、初めからの目撃者で、みことばに仕える者となった人々が、私たちに伝えたそのとおりを、多くの人が記事にまとめて書き上げようと、すでに試みておりますので、」

(1) 「多くの人」とは、何人かの人たちといった程度の意味である。

① 当時の正式な文章では、こういう言い方をした。

(2) 最初の「私たち」は、信者全体である。

① 訳文の比較

\* 「私たちの間ですでに確信されている出来事」(新改訳)

\* 「わたしたちの間に成就された出来事」(口語訳)

\* 「わたしたちの間で実現した事柄」(新共同訳)

(3) 次の「私たち」は、より狭い範囲の信者である。

(4) 「初めからの目撃者」

① イエスの公生涯の始まりから、という意味。

\* バプテスマのヨハネとイエスの誕生物語は、公生涯への序曲である。

② 彼らは、「みことばに仕える人々」でもある。

(5) 目撃者が伝えた情報を、正確に記事にまとめた人たちが何人かいた。

## 3. 3～4節

「私も、すべてのことを初めから綿密に調べておりますから、あなたのために、順序を立てて書いて差し上げるのがよいと思います。尊敬するテオピロ殿。それによって、すでに教えを受けられた事がらが正確な事実であることを、よくわかっていただきたいと存じます」

(1) 3つの対照がある。

① 「私も」

\* 「多くの人たち」に対応する。

② 「順序を立てて書いて差し上げる」

\* 「多くの人が記事にまとめて書き上げようと」

③ 「正確な事実であることを」

\* 「初めからの目撃者で、みことばに仕える者となった人々が、私たちに伝

えたそのとおりを、」

- (3) ルカは、先人たちの作品を否定していない。
  - ①むしろ、その権威を認めている。
  - ②マルコの福音書、Q資料、L資料などが活用されている。
  
- (4) ルカの資格は2つある。
  - ①すべてのことを初めから綿密に調べている。
  - ②歴史家の目で、順序立てて書く。

#### IV. ルカの目的は何か。

- 1. テオピロが信者であったかどうかは分からない。
  - (1) 彼は、メシアの生涯、福音、キリスト教の教理などについて教えを受けていた。
  
- 2. テオピロがすでに教えられていた内容が、信頼できるものであることを証明する。
  
- 3. この文書がローマ帝国内で流布し、信者が多く起こされるように。

#### 結論：

- 1. ルカの謙遜
  - (1) ルカは自らの名前を出していない。
  - (2) 彼は、教会の一員であることに満足していたのであろう。
    - ①みからだの中の一部として、賜物を発揮した。
  
- 2. メシアの生涯の歴史性
  - (1) メシアの歴史性を疑う人への最高の説明が、ここにある。
  
  - (2) 福音伝達の5つのステップ
    - ①信者の間ですでに実現した出来事（神が歴史に介入された出来事）
    - ②目撃者（みことばに仕える人々）が、それを伝えた。
      - \*「パラディオウミ」という動詞。
      - \*権威ある伝承の伝達である。

- ③多くの人が記事にまとめた。
- ④ルカはそれらの記事を綿密に調査し、順序立てて書いた。
- ⑤今私たちが、ルカの福音書を通して、メシアの生涯について情報を得ている。

### 3. 世界史の中のキリスト教

(1) ルカ以前の文書は、いわば、教会内で用いられる文書であった。

(2) ルカは、テオピロに自らの福音書を献呈した。

①出版を計画したかどうかは分からないが、ローマ世界に広く流布することを意図したことは確かである。

②ルカは、世界史の中にキリスト教を位置づけようとしたのである。

(3) 私たちへの適用

①包装紙が貧弱だという理由で、宝を届けることを躊躇してはならない。

②2 コリ 4 : 7

「私たちは、この宝を、土の器の中に入れていっています。それは、この測り知れない力が神のものであって、私たちから出たものでないことが明らかにされるためです」

③福音は、私的なものから、公のものになる必要がある。